

【日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞

「人に優しい鉄道の自動運転：世界初 GOA2.5 の実用化」特別賞】

◎九州旅客鉄道株式会社

「ATS-DK をベースとした GOA2.5 自動運転実現について」

（選考理由）

労働人口および沿線人口減少を背景に、鉄道における機械化、自動化を推進する一環としてドライバレス自動運転が重視されるようになりましたが、鉄道自動運転は、21 世紀になり、海外の都市鉄道を中心に、乗務員がいない列車運転を許す完全自動運転を自動化レベル GOA4 として数多くの実用例を見る中、わが国の普通鉄道ではワンマン運転：半自動運転 GOA2 があるのみでした。

乗務員の前頭乗務を求めぬドライバレス運転：GOA3 等の実用化を目指す検討を活発に行う中で、国際標準に運転士免許を持たない前頭乗務員を置く GOA2.5 という新たな自動化レベルを日本独自に設定しました。JR九州は間欠配置地上子を用いた列車位置情報に基づく ATS-DK という既存の安全システムを基本に、大きな地上追加投資を行わず自動運転を行う技術を確認し、2024 年 3 月に GOA2.5 の商用運転を開始。これは、都市部以外への普及も可能な、人にやさしい日本独自の鉄道自動運転を世界に向け発信するもので、実用化 150 周年を迎えた日本の鉄道技術の新たな歴史を拓く価値の高い実績なので、ここに「人に優しい鉄道の自動運転：世界初 GOA2.5 の実用化」特別賞を授与します。

